

平成23年7月31日
今週のベストショット



H23. 7. 31 奈多グラウンド 塩浜ジャガーズ 対 奈多フェニックス戦
障害物があり、レフトとも重なる難しい当たりを好捕するジャガーズのセンター岩崎光洋選手。
(写真：新町ウインズ 早田主大)

奈多グラウンド

塩浜ジャガーズ	0 1 0 0 0	1	負投手：山中	HR：なし
奈多フェニックス	0 3 2 0 ×	5	勝投手：池見	HR：なし

二回表ジャガーズは、先頭の5番内田耕司選手が四球、6番堀内雅二選手の左前安打で無死一・三塁として、7番松下照夫選手の二ゴロの間にランナー1人が返り先制した。その裏フェニックスは、5番実延新伍選手の右中間二塁打、池見和彦選手が四球で1・2塁とすると、7番今林心一選手の送りバントをジャガーズが痛恨のフィルダースチョイスで満塁に。そこでジャガーズ山中信春投手は踏ん張りきれず、8・9番を二者連続押し出し、1番今林英二選手にはセンターへ犠牲フライを打たれ3失点。フェニックスはさらに三回裏、一死から4番安河内祐貴選手の左前安打、実延選手の四球の後、6番池見選手が右中間への2点タイムリー三塁打で追加点。ジャガーズは五回表二死ながら一・二塁で3番立石選手に打順が回ったが、フェニックス池見投手の前に三ゴロに倒れ、フェニックスが全勝を守った。(記事：新町ウインズ 桐島司、写真：早田主大)



ジャガーズ山中信春投手と立石高伸遊撃手、
投打の二人の出来が試合の鍵となる。



反撃の狼煙となる右中間二塁打を放つ
フェニックス5番、実延新伍選手。

青松園 A

三苦三球会 200202 6 勝投手：吉留 HR：澤田
雁ノ巣ライナース 000031 4 負投手：今林貢 HR：なし

三球会は初回、ライナース今林貢投手を攻め2番澤田剛選手から犠飛を挟んで5連打で2点を奪う幸先のいいスタート。更に四回表にもエラー絡みで2点を奪い、流れは三球会ペース。対するライナースは、三球会吉留隆久投手の前に四回まで1安打と今一つ調子に乗れない。が、5回裏ライナースは、7番三宅基裕選手のセーフティーバントを足がかりに無死満塁とすると、2番池内史彦選手の右翼線二塁打などで3点を返し1点差とする。追い上げられた三球会は6回表、エラーのランナーを1人置いて、2番澤田選手が右翼へ特大本塁打を放ち勝負を決定づけた。その裏ライナースも1点を返すが届かず試合終了。試合の流れはほぼ三球会にあったが、5回裏に同点以上になっていれば、どちらに転ぶかわからない試合だった。(記事：三友クラブ 山本健一)



三球会洪田正勝三塁手の美技。



ライナース三宅基裕選手(46歳!)のセーフティーバントが決まる!



三球会澤田剛選手が放った二戦連続の特大本塁打は、貴重な勝ち越し打となった。



おみごと!ライナース池内選手の右翼線2塁打。

青松園B

奈多クラブ 0010061 8 勝投手：吉田 HR：落石
ソルトベ이스ターズ 1103000 5 負投手：中村（耕） HR：中村健一

ソルトベ이스ターズは一回裏、中村健一選手の先頭打者本塁打で先制。エラーで1点差に詰め寄せられた四回裏には、中村健一選手が四球で出塁後、二盗・三盗を決め、3番田中修平選手の左前タイムリーでまず1点。エラーと5番中村一郎選手のヒットでさらに2点を追加し、試合を決めたかに思えたが……五回表奈多クラブが四回から登板の中村（耕）投手を攻め、一気に反撃にでた。この回先頭の1番今林賢人選手が左二塁打、続く2番吉田貴史選手の右三塁打でまず1点。その後4番今林卓也選手、5番今林健選手、6番砂場知行選手の三連打で同点に追いつくと、仕上げは8番落石官照選手の2ラン本塁打でこの回6点をあげ、ついに逆転。七回にもダメ押し1点を追加した。ソルトは、二回に1点を追加した後、さらに死四球で二死満塁とチャンスが続いたが、一気に攻めきれなかったのが悔やまれる。（記事：ブルーマーリンズ 友重正司）



一回裏ソルトは、中村健一選手の先頭打者本塁打で先制する。



六回表奈多クラブは、1番今林賢人選手が逆転の口火を切る二塁打を放つ。



ソルトは2点を追う六回裏、田中広孝選手がワイルドピッチで本塁を狙うもタッチアウト！



奈多クラブは、8番落石官照選手の2ラン本塁打で逆転する。

雁レク 4

三苦ホーネッツ 00202 4 負投手：井手 HR：広木×2
新町パイレーツ 14000 5 勝投手：八坂 HR：白岩

一回表ホーネッツは、先頭の山崎選手が見事なバスターから二塁を狙うも微妙なタイミングで出塁ならず無得点に終わる。逆にその裏パイレーツは、4番大濱聡選手の打球が内野安打となり先制点を挙げると、更に二回裏、吉田崇浩選手の三塁打と白岩勝義選手の左越え本塁打で4点を奪う。パイレーツ八坂投手の好投に得点できないホーネッツは三回表、打順も二順目となり、ようやく流れを掴んだのか、走者をためてから4番広木俊輔選手が左翼線を抜ける2ラン本塁打を放つ。リードを許したホーネッツは三回裏に井手投手→矢野投手にスイッチ。この継投策により、三・四・五回のパイレーツの攻撃を無得点に抑え、見方の反撃に望みを託す。四回表からパイレーツも八坂投手→吉田投手の継投策に出る。五回表ホーネッツは、二死1塁から広木選手が本日二本目となる本塁打を放ち追いつく兆しを見せるも、パイレーツの時間稼ぎにもなる見事な采配でギリギリの勝利となった。

(記事：三苦フレンズ 吉村雄二)



バント処理をするホーネッツ矢野義幸投手。



リズムよく攻めるパイレーツは大金星を挙げる。

第13週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

7月最後の日曜日にも暑い4試合が行われました！

最近点差が開く試合が多かったのですが、今週は全て接戦でした。

雁レク4球場では、パイレーツが優勝候補の一角ホーネッツを破る金星を挙げました。序盤をしのぎ、一気に先行&逃げ切り体制を作ったのが勝因でしょうか？ホーネッツ4番広木選手の意地の2HRもあと一步届かず、痛い1敗です。奈多グラウンドではフェニックスが先制されるも、相手ミスに突け込む上手い攻めで逆転勝ちです。私も見に行きましたが、今年の池見投手を打ち崩すのは至難の業ですね。ピッチングがいいと、バッティングもいいので、どう攻略するか問題です。ジャガーズも最後に見せ場を作りましたが、残念でした。青松園Aは、2点ずつ効率よく点を取った三球会が勝利して、1敗の3位につけています。ライナーズも中盤まで吉留投手に抑えられ、エンジンがかかるのが遅かったですね。青松園Bは試合を優位に進めていたソルトを奈多クラブが見事な集中打で逆転勝ちでした。奈多クラブ落石選手のHRは非常に効果的な一撃でしたね。

福岡県の代表校も春のセンバツで準優勝した九州国際大学付属高校に決まりました。一年で一番暑い時期に突入しましたので、ここから巻き返しを狙うチームも、勝ち星を連ねるチームも頑張ってください！